

3次元Object CAD対応 イラストレーター活用マニュアル

データ読み込みから印刷・PDF化まで

イラストレーターの簡単な使い方を説明します。

イラストレーターはベクトル画像編集ソフトウェアです。ベクトルデータや画像を読み込み編集することができます。例えば、CADで作った図面を画像にすることなく、ベクトルデータのまま編集できるので

- ・図面の縮尺を自由に変えられる
- ・ベクトルデータのままPDF化できる(プレゼンテーションする際画像データだとズームした際に画像の劣化が目立ちますが、ベクトルデータの場合、いくらズームしても劣化は見られません)等のメリットがあります。

ベクトルデータや画像データを一つにレイアウトする際に、便利なデジタルツールなのでご活用ください。

もくじ

データの読み込み

- DXFデータを読み込む
- 画像データを読み込む

イラストレーターでのレイアウト例

- 縮尺をあわせる
- わかりやすいプレゼンテーションをするための工夫

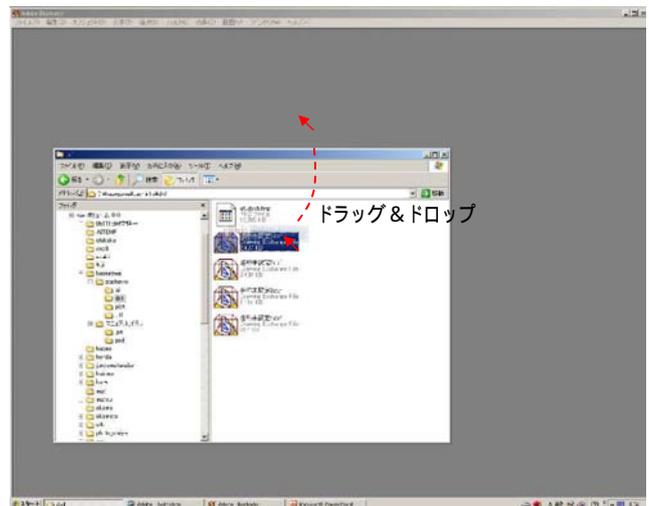
データをアウトプットする

- 印刷する
- PDF化する

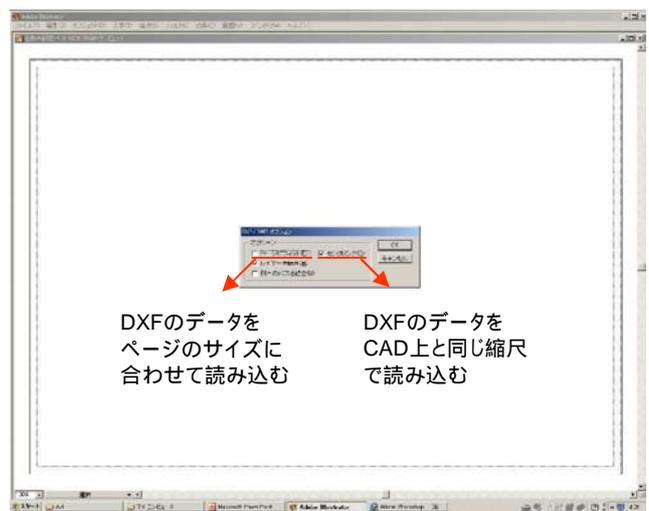
データを読み込む

DXFデータを読み込む

- 1 イラストレーターを起動し、イラストレーターウィンドウに読み込みたいDXFデータをドラッグ&ドロップする。



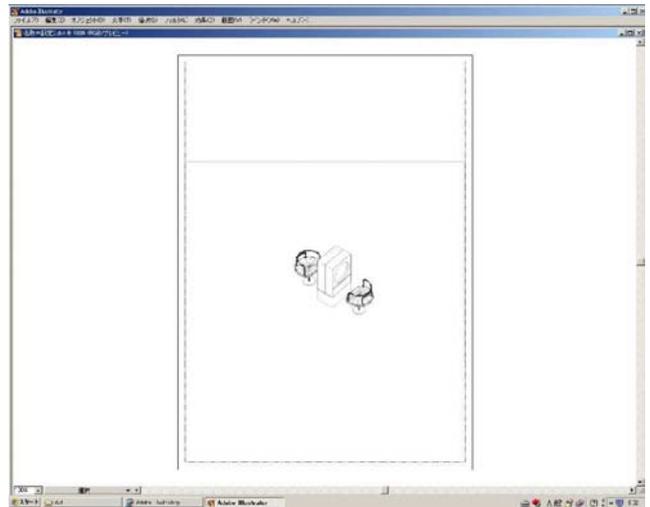
- 2 [ページにフィット][センタリング]どちらかを選択し[OK]をクリック。



データを読み込む

DXFデータを読み込む

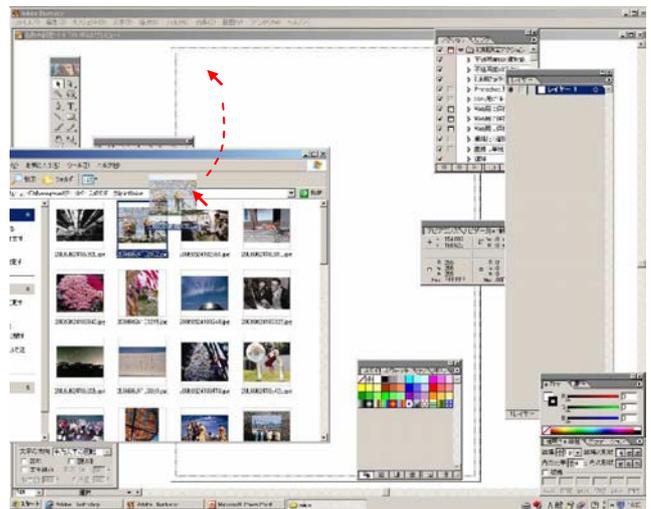
3 DXFデータを読み込めました。



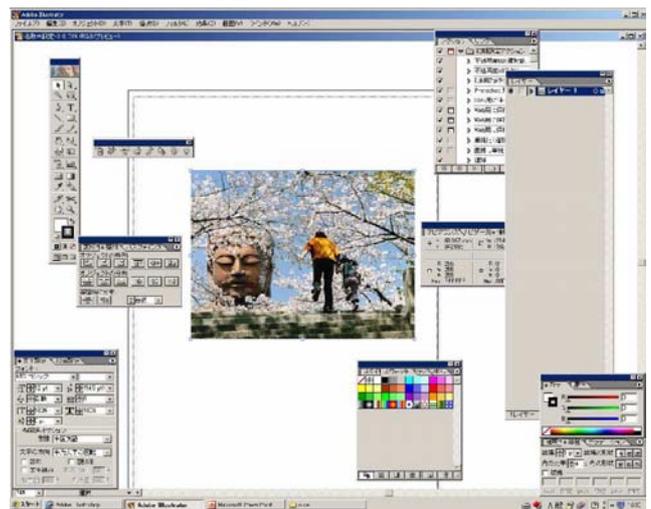
データを読み込む

画像データを読み込む

- 1 イラストレーターを起動し、イラストレーターウィンドウに読み込みたい画像データをドラッグ&ドロップする。



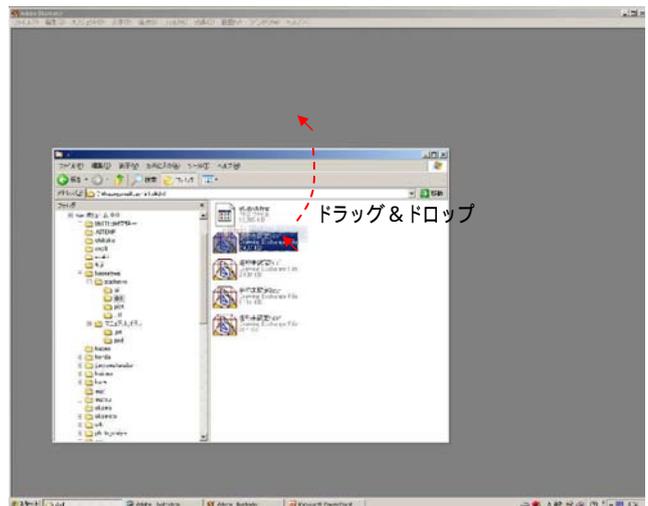
- 2 画像データが読み込めました。



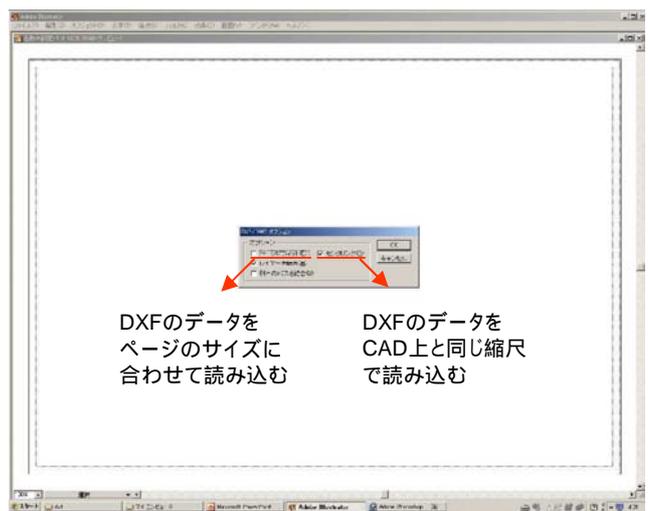
イラストレーターでのレイアウト例

図面の縮尺をあわせる

- 1 イラストレーターを起動し、イラストレーターのウィンドウに読み込みたいDXFデータをドラッグ&ドロップする。



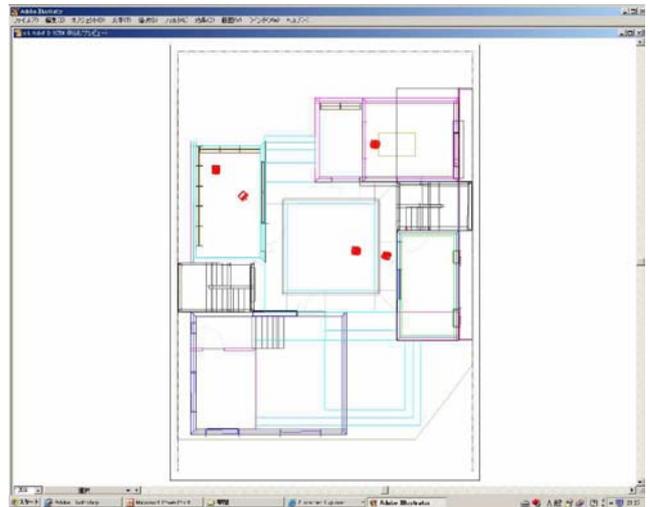
- 2 [ページにフィット]を選択し[OK]をクリック



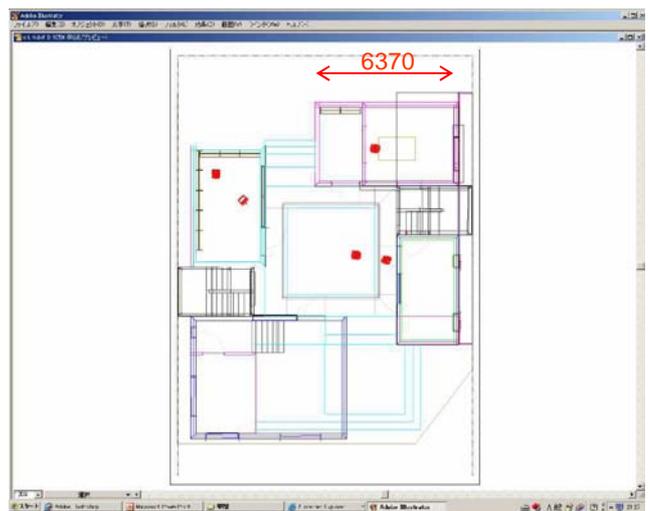
イラストレーターでのレイアウト例

図面の縮尺をあわせる

- 3 図面を読み込みましたが、基準がページの大きさになっているので、縮尺を調整する必要があります



- 4 右図の赤い矢印の辺が6370mmなのでそこを基準に縮尺を調整します



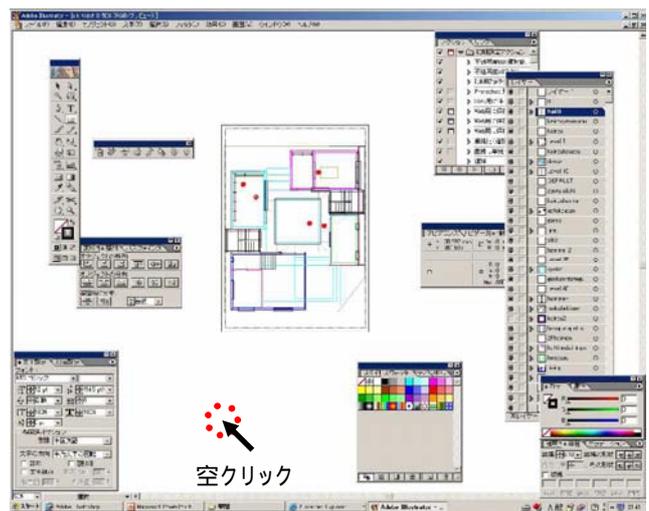
イラストレーターでのレイアウト例

図面の縮尺をあわせる

- 5 [ツール]パレットから[長方形ツール]を選択



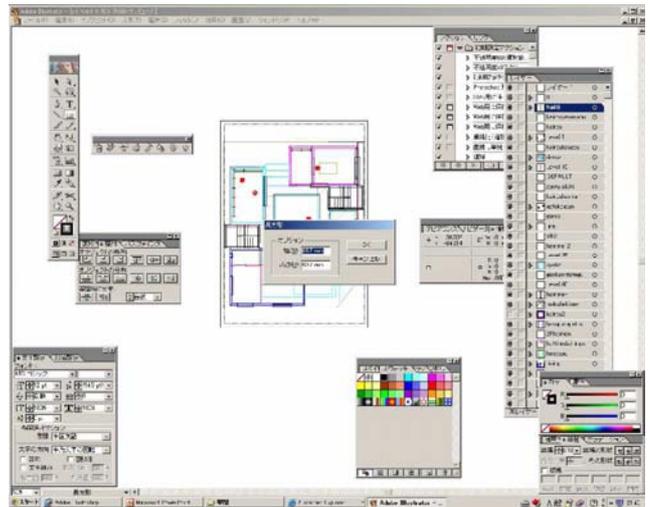
- 6 描画ウィンドウ上で[空クリック]



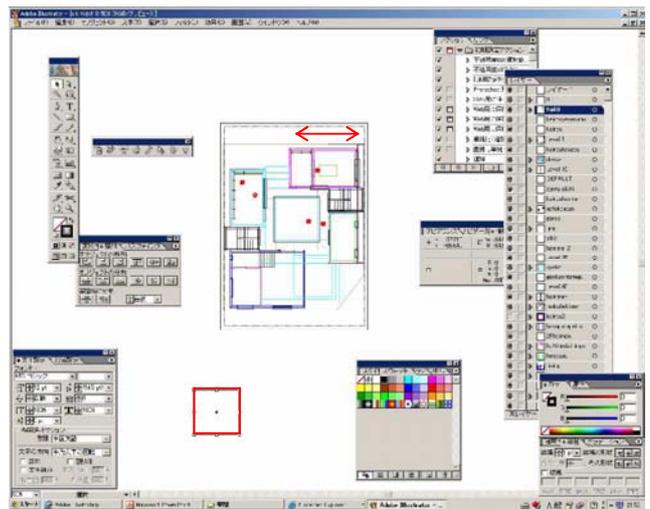
イラストレーターでのレイアウト例

図面の縮尺をあわせる

- 7 [長方形]ウィンドウに寸法を入れる
1/100を想定し、63.7mm角の正方形
を描く



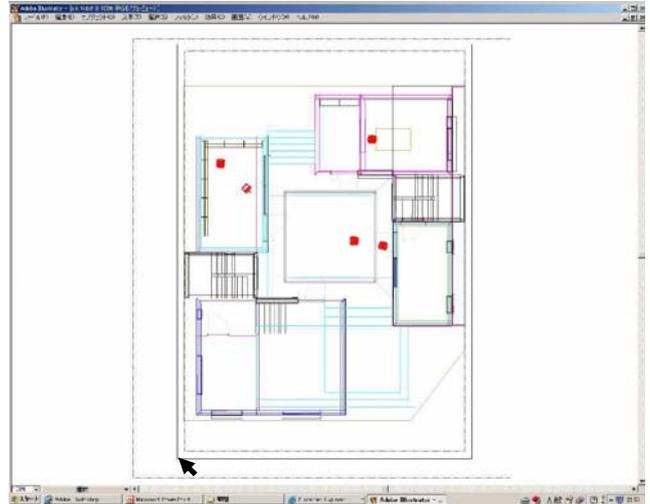
- 8 6370の辺を描いた正方形の辺にあわせる



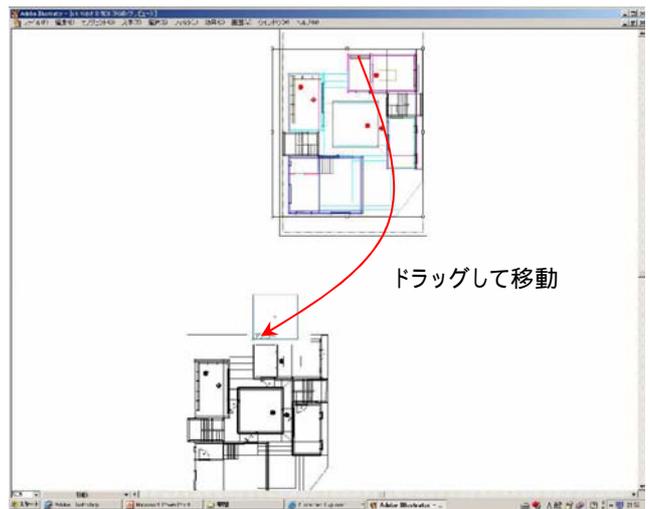
イラストレーターでのレイアウト例

図面の縮尺をあわせる

9 縮尺を調整したい図面を全て選択する



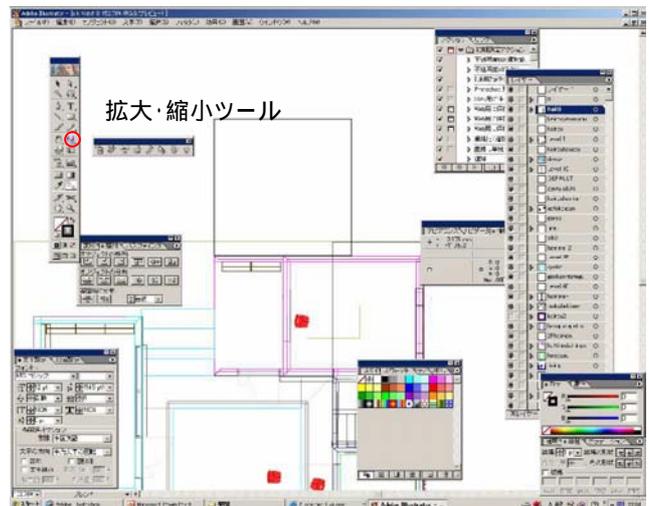
10 基準となる辺同士が接するように図面をドラッグして移動



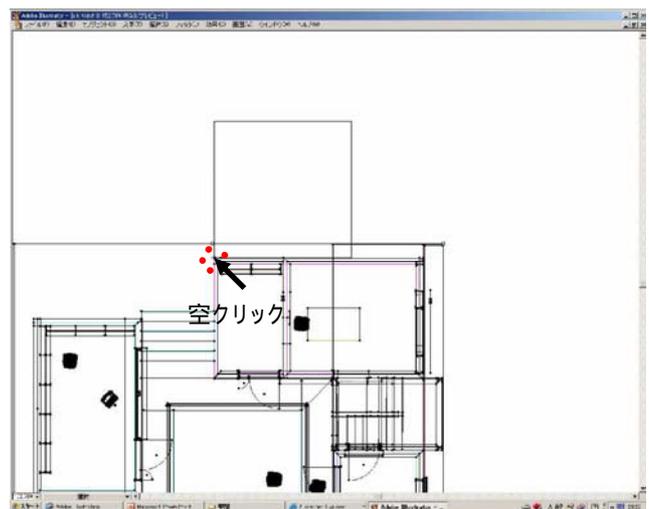
イラストレーターでのレイアウト例

図面の縮尺をあわせる

- 1 1 縮尺を調整したい図面を選択した状態で、[拡大・縮小ツール]を選択



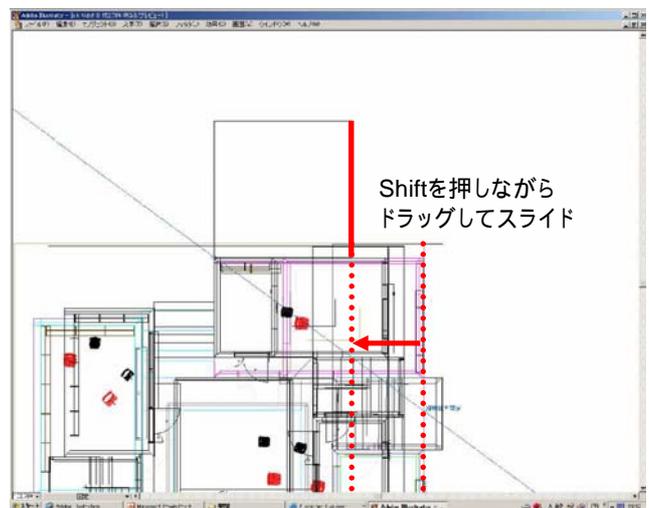
- 1 2 縮小の基準となる点で空クリック



イラストレーターでのレイアウト例

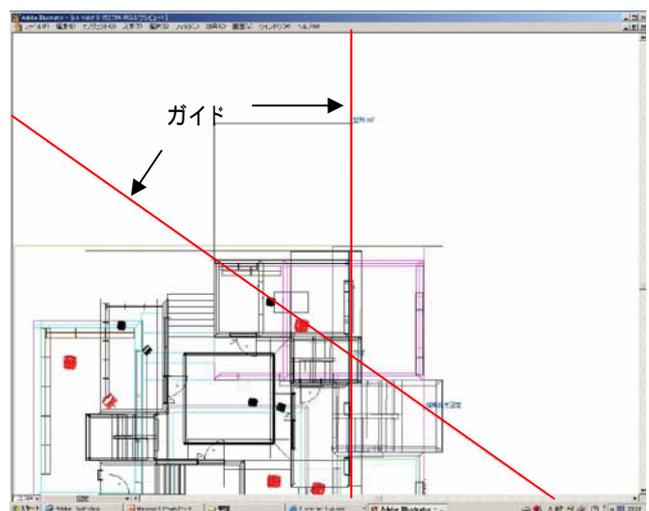
図面の縮尺をあわせる

- 13 図面の基準となる辺の一点をドラッグし、基準正方形の幅に合わせる



- 14 右図のようにガイドが出る点でドロップする

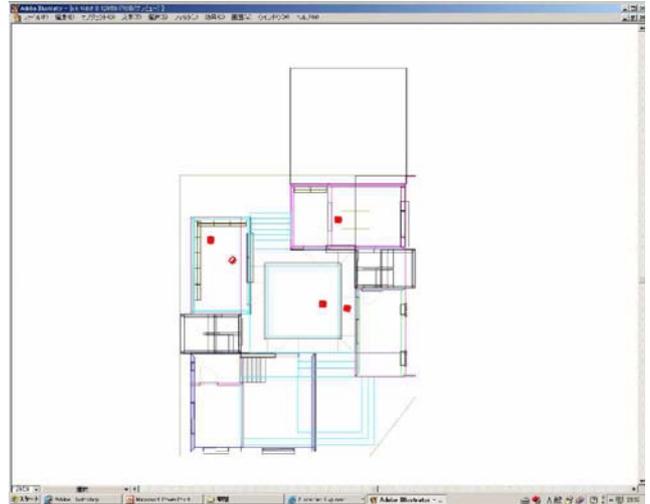
ガイドを表示するためには
[画面][スマートガイド]をクリック



イラストレーターでのレイアウト例

図面の縮尺をあわせる

15 1/100の縮尺に調整完了しました



イラストレーターでのレイアウト例

わかりやすいプレゼンテーションをするための工夫



- 画像をトリミングして並べる
- 文字を書く（作品タイトル、キーワード、画像のコメント）
- 図面に色をつける（色調を揃える、主張を明確にする）
- 図面を同じスケール、同じ向きで並べる

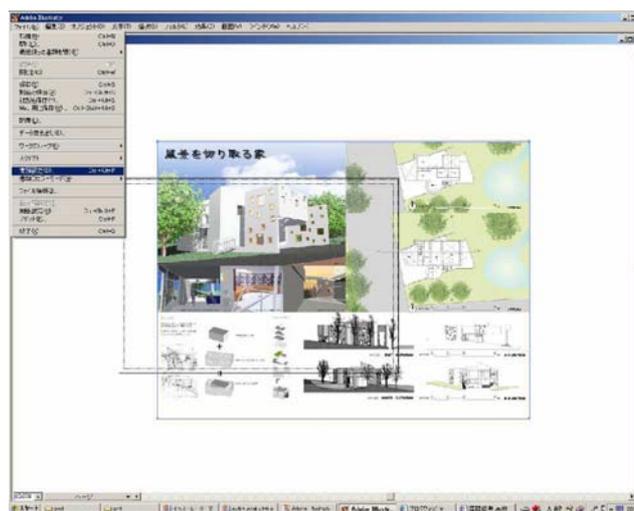
データをアウトプットする

印刷する

- 1 右図の中央にある枠が、アートボードと印刷可能範囲の枠です
印刷したい絵をこの枠内に納めてから印刷を行います



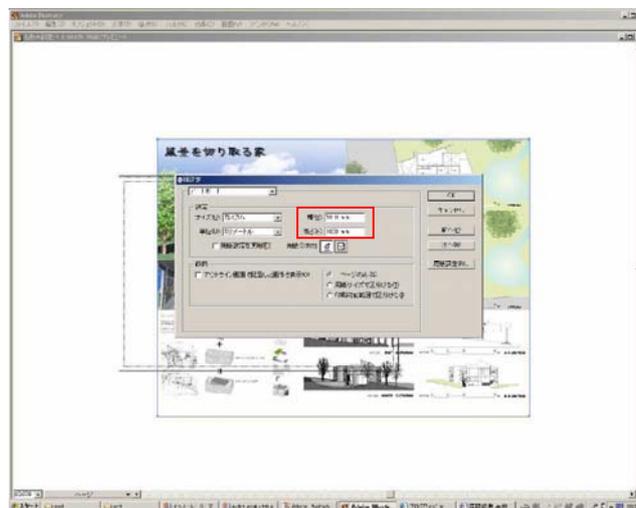
- 2 [ファイル][書類設定]をクリック



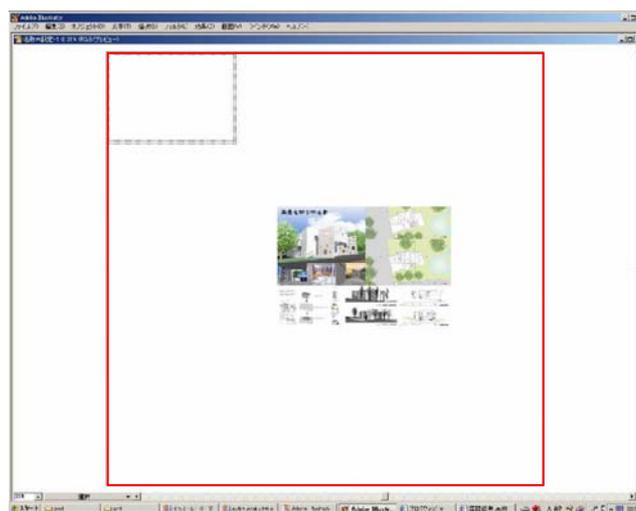
データをアウトプットする

印刷する

- 3 アートボードの設定がA4サイズと
なっているので、印刷したいサイズ
(今回はA2サイズ)よりも大きめに設
定します



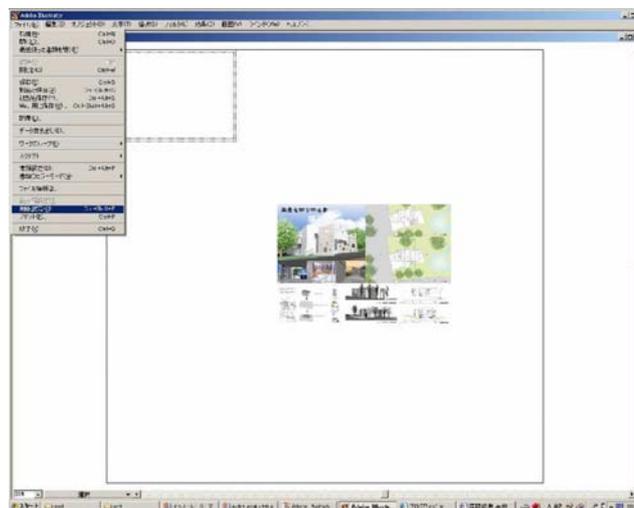
- 4 印刷したい絵がアートボード内に納
まりました



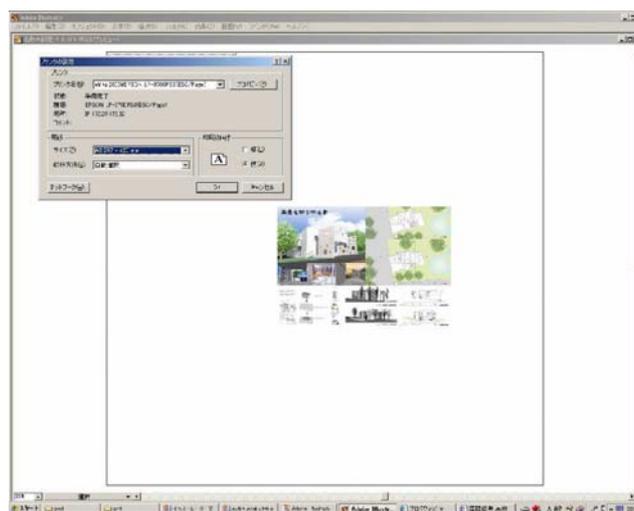
データをアウトプットする

印刷する

- 5 次に印刷範囲を調節します
[ファイル][用紙設定]をクリック



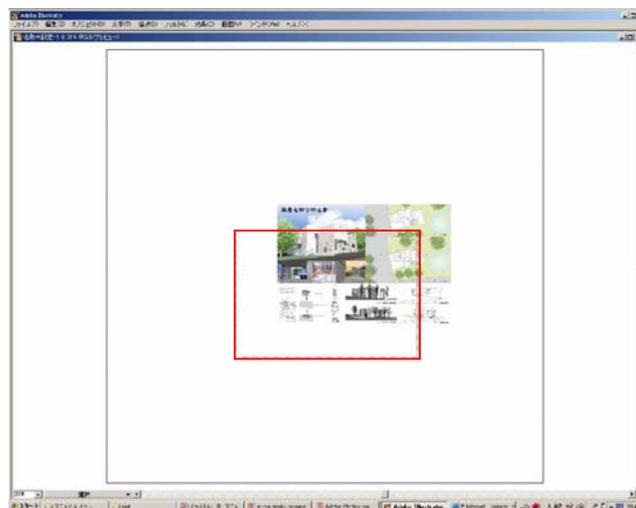
- 6 [プリンタの設定]ウィンドウ[用紙サイズ]をA4からA2に設定し[印刷の向き]を確認し[OK]をクリック



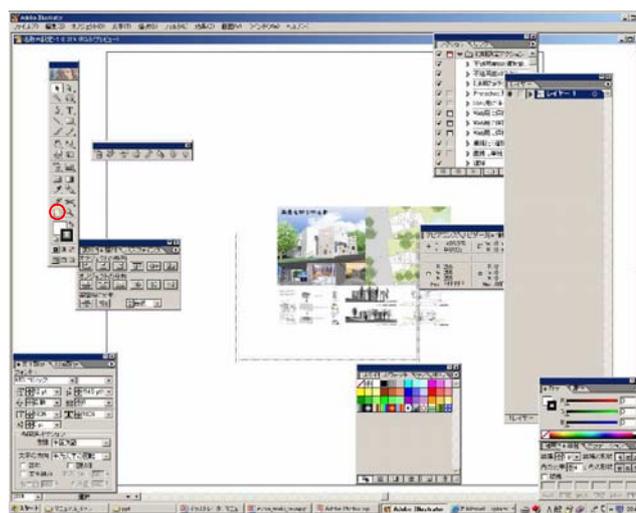
データをアウトプットする

印刷する

- 7 印刷範囲(点線の二重枠)がA2サイズになりました



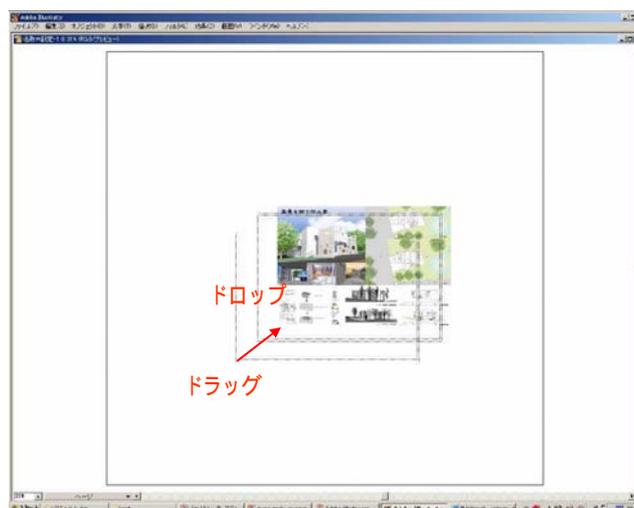
- 8 次にページツールで印刷範囲を移動します
[ツール]パレットから[ページツール]を選択



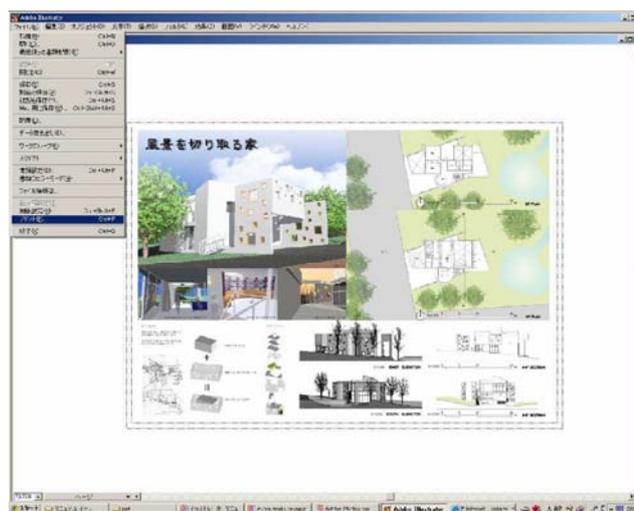
データをアウトプットする

印刷する

- 9 印刷範囲内に納まるよう枠をドラッグ&ドロップで移動



- 10 印刷範囲内に印刷したい絵が納まったことを確認して[ファイル][プリント]をクリック



データをアウトプットする 印刷する

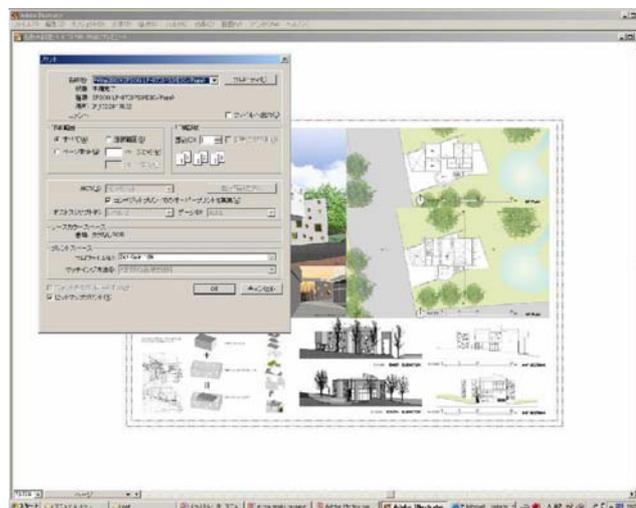
- 1 印刷したいドライバ、印刷設定を調整して[OK]をクリック
印刷完了です

用紙の取り付けに関しては衣袋研究室ホームページのマニュアルを参照下さい

<http://www.itailab.se.shibaura-it.ac.jp/>

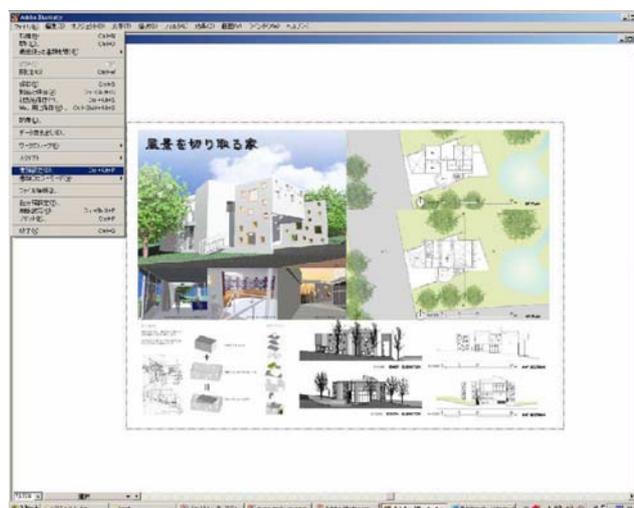
トップより

MANUAL_OBJECT CAD object
CAD印刷マニュアルへジャンプ

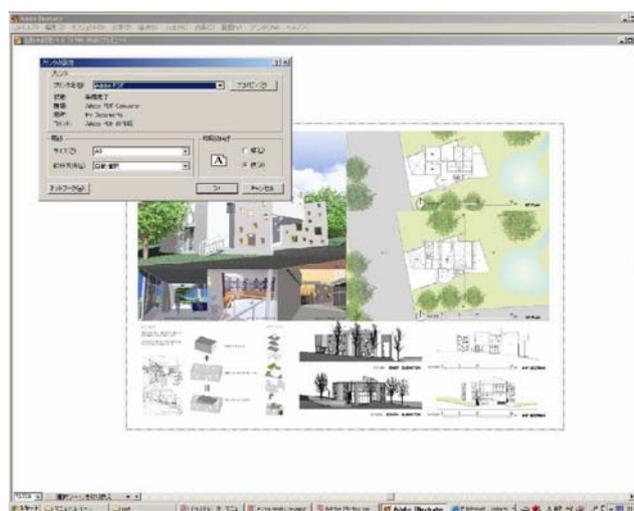


データをアウトプットする PDF化する

12 [ファイル][書類設定]をクリック



13 [プリンタの設定]ウィンドウのプリンタ名を[Adobe PDF]に設定

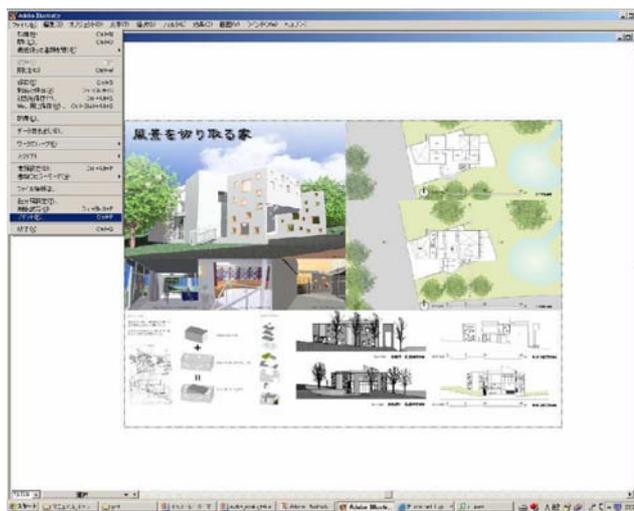


データをアウトプットする PDF化する

- 14 印刷したい絵を印刷範囲内に納まるように設定します(16ページ参照)
PDFの印刷可能範囲は印刷とは違い二重枠ではなく一重枠で表示されます。枠の淵までプロットできます



- 15 [ファイル][プリント]をクリック



データをアウトプットする

PDF化する

16 印刷設定を調整して[OK]をクリック
PDF化完了です

